

庭園間交流連携促進計画



ルートぞいの里山風景（胎内市）



村上市満福寺の庭園

2019（令和1）年5月

にいがた庭園街道ネットワーク

一 目 次

	ページ
様式 1-1 表紙	—
様式 1-2 取組の将来像（ビジョン）	1
様式 1-3 位置図	3
様式 1-4 計画のテーマ	5
様式 1-5 構成庭園一覧表（ ）は施設番号	9
1. 普濟寺（No.6）	9
2. 渡邊邸（No.8）	11
3. 清水園（No.11）	13
4. 五十公野御茶屋（No.13）	15
5. 市島邸（No.14）	17
6. 五十嵐邸ガーデン（No.15）	19
7. 長生館の庭園（No.16）	21
8. 孝順寺（No.17）	22
9. 椿寿荘（No.19）	24
10. 北方文化博物館（No.23）	25
11. 旧小澤家住宅（No.24）	27
12. 北方文化博物館新潟分館（No.25）	29
13. 新潟市旧齋藤家別邸（No.26）	30
様式 1-6 その他の取組 ～越後村上春の庭百景めぐり～	32
様式 1-7 実施する事業と実施体制	34
様式 1-8 具体的な事業一覧表	39

別紙 にいがた庭園ネットワーク 規約



豪農の館 北方文化博物館



図-A 新潟県の人気観光スポット

1. 新潟県の下越地区を輝かせたい。

新潟県の観光の人気スポットは佐渡の金山や上越の高田公園の桜、上杉謙信の春日山城、スキー場、中越では長岡花火などが挙げられるが、新潟市を含む下越地域では知名度の高いイベントや人気スポットがないというのが現状である（図 A 参照）。

しかし、この地域にしっかり目を向けてみた時、歴史ある貴重な建造物や優雅な庭園が数多く存在することに改めて気付かされる。しかもそのスポットは里山や田園風景を縫って走るとどかなルートで結ぶことができる。もし、これらの眠っている逸材に光を当て紹介することができれば、下越地区の観光が活

気づき、過疎化に歯止めがかかって、地域全体が活性化していくことに繋がるのではないだろうか（図 B 参照）。そんな発想が、「にいがた庭園街道ネットワーク」設立の原点である。

2. 「にいがた庭園街道ネットワーク」のテーマとは…

新潟平野の東縁部の山裾には古くから人が住み、街道が生れ、西に広がる沼や湿地を耕作地・居住地へと創り変えてきた。やがて大地主が誕生し、富を地域に還元したと伝わる「日本庭園・伝統建築」文化が築かれた。そして、武家や豪商や僧侶らも競いながら独自の庭園文化を築いてきた。そんな庭園、伝統建築、日本の原風景、温泉が織りなす魅力を発信して、観光振興を図り、地域が活性化し、新潟県が輝くことを目指している。

3. 地域の精神面、経済面の活性化を目指す。

2つの活性化をビジョンとして掲げている。第一に、地域住民の精神面の活性化である。来訪者の増加により、貴重な庭園等が地域にあることに住民が誇りを持つことを目指している。第二に、地域の経済面の活性化である。庭園等の回遊および温泉宿との連携により、来訪者の増加、滞在時間の増大を目指している。

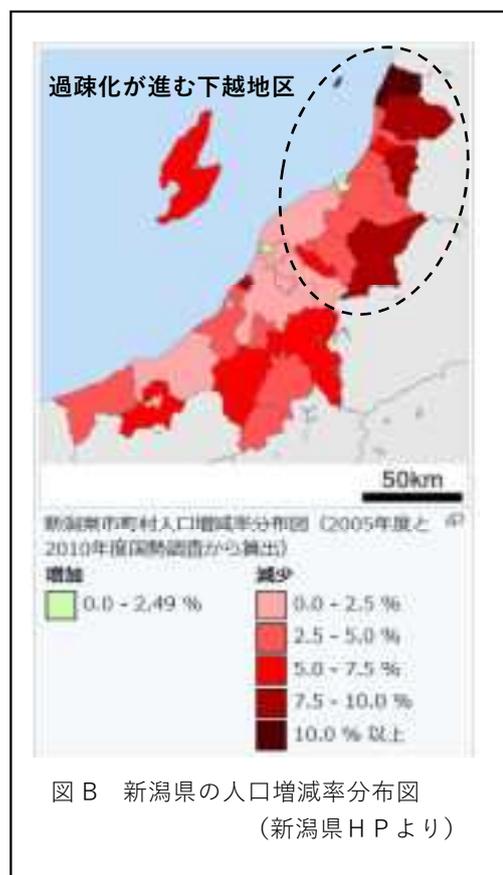


図 B 新潟県の人口増減率分布図（新潟県HPより）

4. 地域に根差した庭園文化を紹介したい。

質の高い庭園に加え、作庭当初の建物がともに残っている施設が多いことを活かし、庭園と建物を一体のもの（庭屋一如）として楽しむ鑑賞法を普及して、当該地区の庭園文化を積極的に紹介していきたい。

(1) なぜ、新潟に質の高い庭園が多いのか？

～新潟の庭園の魅力と特徴

(造園様式など)～

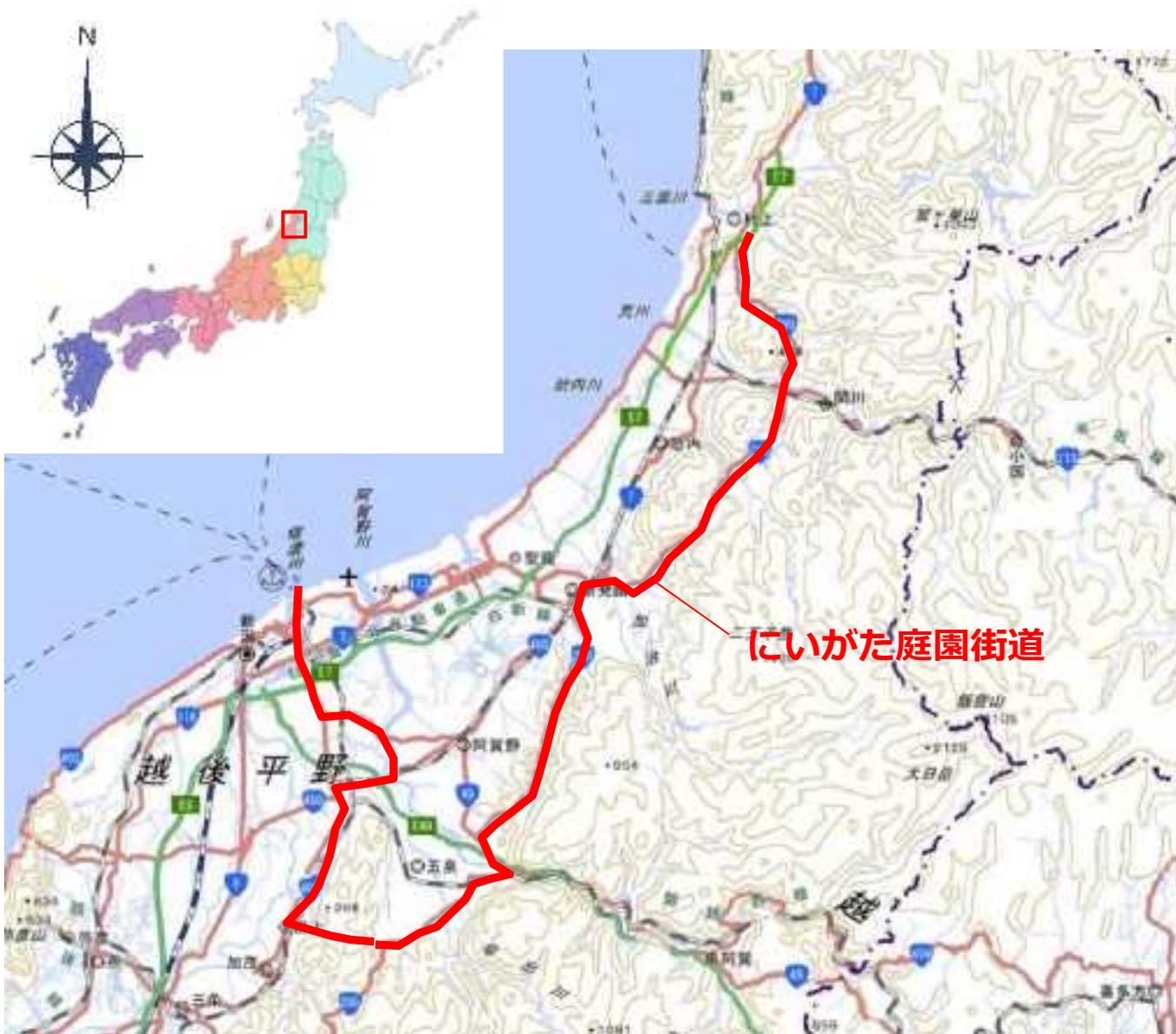
- ・ 理由は北前船交易などを通じて京文化への憧れがあったことに端を発する(図-C)。江戸時代には京都の庭師、あるいは遠州流の庭師が招かれた記録がある。
- ・ 京都との交流が盛んであったため、明治以降作庭の庭園でも、流行した西洋風庭園や自然主義風景式庭園などよりも伝統的な主石賓木の京風庭園が主となっている。
- ・ 昭和にはいっても、京都との交流は盛んで、京都の古庭園の修復で名高い田中泰阿弥(柏崎市出身)がいくつもの庭園の修復に携わっている。



(2) 新潟に見どころある庭園が
集積・残存している背景

- ・ 明治時代に全国の多額納税者トップ 10 人のうち 6 人を新潟県内で占めるほど豊かだったため、民の庭を残し、あるいは作ることができた(後述⇒様式 1-4)。
- ・ 逆に武家の庭はそれほど残っておらず、清水園、五十公野御茶屋くらいである。
- ・ 震災・戦災にそれほどあっていないこと。
- ・ 開発のために庭園をつぶしたり、周辺にビルが立ち並ぶようなことが比較的少なかったこと。

にいがた庭園街道 案内図



にいがた庭園街道 構成庭園位置図



登録申請庭園

図 1-1 約6000～8000年前(縄文海進期)



1. 庭園街道沿いは太古の昔から人間が好んで住んでいた地

図1-1は約6000～8000年前の縄文海進期の新潟県の地形状況である。

赤丸は縄文時代の前期～中期の遺跡の出土地点を示している。一部は湿地の海側にできた砂丘上に出土しているが、ほとんどが山地、丘陵の縁辺部(西縁)に縄文人が暮らしていたと思われる。

「にいがた庭園街道」を赤線で重ねて示したが、太古の昔から人間が好んで住み着いていた地を縫うように庭園街道が通っていることが分かる。

まさに、懐かしい日本の原風景がそこにあると言える。

2. 自然の恩恵！庭園街道沿いになぜ温泉が湧く？

図 2-1 は新潟県の地下水の温度分布図である。

平野の東縁には新発田～小出構造線という断層が北東～南西方向に連続している。

「にいがた庭園街道」を重ねるとこの構造線と良く重なる。偶然のなせる業ではあるが、この構造線やそれに平行した断層のおかげで、それに沿って熱水が上昇し、地下水温が上昇する現象が起こり、温泉源となっている。

自然は厳しさとともに人々に恩恵も与えてくれるのである。

図 2-1 新潟県の地下水の温度分布図

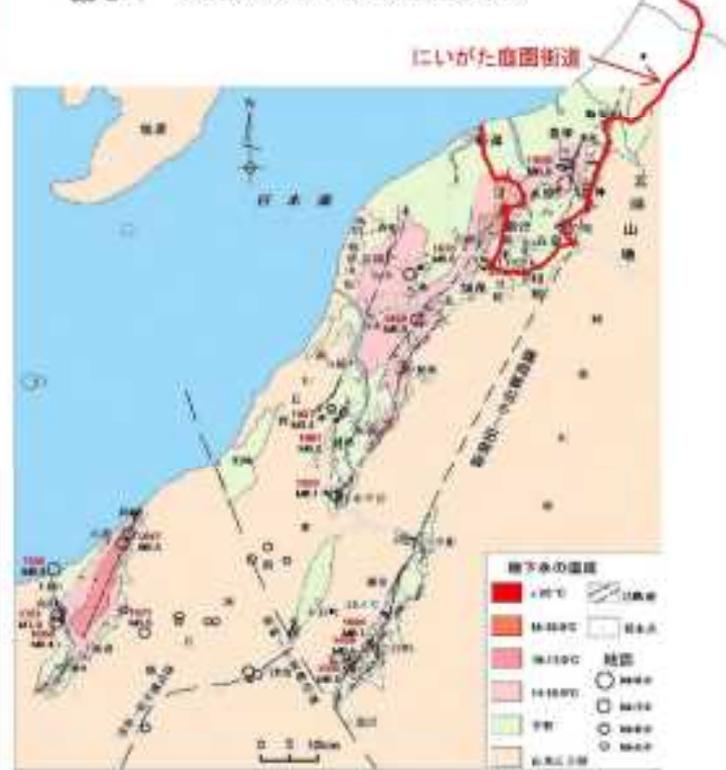




図 3-1 平安時代(1089年)の越後平野の絵図より(「白根郷治水史」) <南北が逆>

3. 平安時代の新潟平野は湯だった。

図 3-1は「白根郷治水史」(白根郷普通水利組合)に掲載されている平安時代の新潟平野を描いた絵図に基づく図である。この図は、日本海側から見た南北が逆の図であるが、これによると当時の新潟平野はほとんどが湯であったことがはっきり読み取れる。



図 4-1 平安時代の新潟平野地図 (約 1000 年前)

4. 「にいがた庭園街道」には広い平原での稲作にあこがれた人々の想いが詰まっている。

図 4-1 は資料に基づき、図 3-1 と同じ頃の平安時代の新潟平野を地図に示したものである。これによると、当時の新潟平野はほとんどが湖や湿地であったことが分かる。

これに「にいがた庭園街道」を重ねてみると、その東側ルートは丘陵の縁辺部にあたる。

山裾に小さな田んぼを作っていた人々が広い平原での稲作にあこがれた。そんな想いが人々をやがて水田開発へと駆り立てていく。

ルートを巡ると太古の人々のそんな想いが伝わってくる。

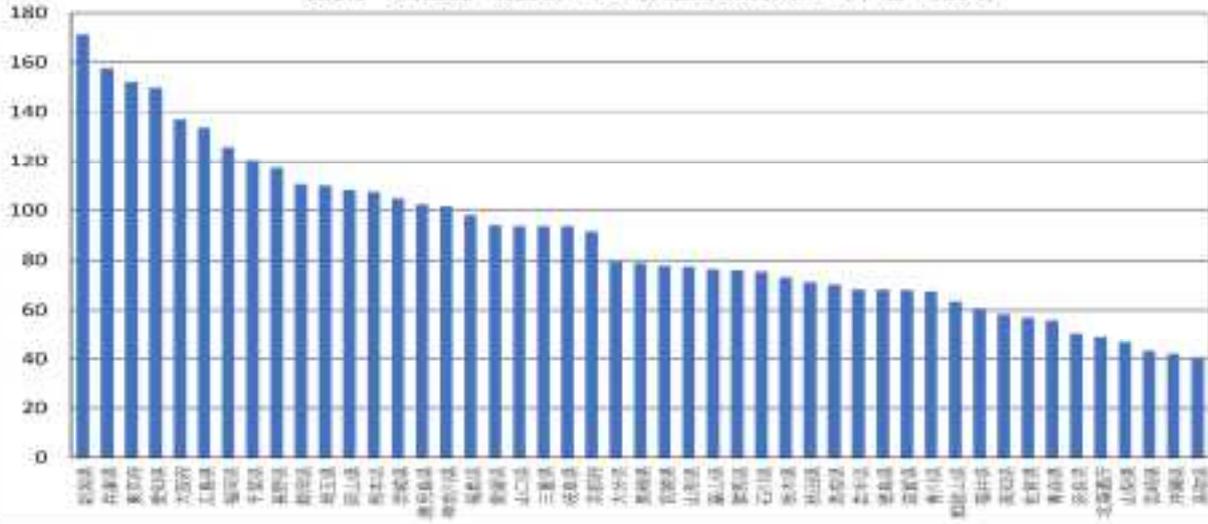
5. 湿原から日本一の穀倉地帯へ

新潟県は、今では全国有数の穀倉地帯となり、米の産出額・水稻収穫量・稲の作付面積のいずれもが日本一となっているが、この“大地”は、図 4-1、図 4-2 に示すとおり、かつては渺茫とした水面が広がる「潟」であり、耕作地とは言い難い湿原であった。

湿原を穀倉地帯へと変えたのは人々の熱い想いだった。干拓や水田開発が進められた江戸時代から、その夢の実現のため大勢の人々が全国から集まってきた。

図 5-1 は明治 25 年の都道府県別人口である。この頃、新潟県の人口は日本一であった。働き手が集まってくると、さらに食料が必要となり水田開発に拍車がかかった。

図5.1 明治25（1892）年の都道府県別人口（単位：万人）



6. 千町歩地主の誕生

潟や湿原が、水田へと変わりゆくなかで、幾多の地主が誕生した。表 6-1 は大正 13 年の当該地区の 1000 町歩地主である。1000 町歩地主は北海道に 13 家あったが、その他は 9 家だった。そのうちにこの 5 家が入っていた。それほど豊かだったのである。

表 6-1 新潟県の 1,000 町歩地主（大正 13 年：農商務省調査）

氏名	住所（現住所）	所有面積	小作人数
市島 徳厚	北蒲原郡中浦村（新発田市）	1,348 町歩	2,488 人
斉藤 徳太郎	北蒲原郡安田村（阿賀野市）	1,103 町歩	1,380 人
白勢 正衛	北蒲原郡金塚村（新発田市）	1,221 町歩	1,720 人
伊藤 文吉	中蒲原郡横越村（新潟市江南区）	1,346 町歩	800 人
田巻 聖太郎	南蒲原郡田上村（南蒲原郡田上町）	1,204 町歩	2,795 人

【『新潟県百年のあゆみ』・地主制の成立：昭和 46 年刊・新潟県を参照】

7.大地主と庭園文化

「にいがた庭園街道」のルート内に、かつての 1000 町歩地主の邸宅がすべて位置している。そして、市島家は「市島邸」で、斉藤家は「孝順寺」で、田巻家は「椿寿荘」で、伊藤家は「北方文化博物館」で、今も残る庭園を通じてその栄華に触れることができる。それらの庭園は、地域への富の還元を目的のひとつとして造られたと言われている。不況や飢饉などで暮らしに困った小作人や村民に雇用を作り、収入が得られるように、造園・建築の予算や期間を設けず、莫大な資金と時間をかけたと伝わっている。

図 7-1
新潟県の地形分類図



にいがた庭園街道沿いの田園風景→

図 7-1 は新潟県の地形分類図である。赤線で示した「にいがた庭園街道」の東部ルートは低地（潟・湿地）の縁辺部に位置している。

この地域は、最も古くから人間が好んで住み着いた里であり、日本の懐かしい原風景が今も残っている。

赤丸は前述の 1000 町歩地主の邸宅位置である。



8. にいがた庭園街道には日本の庭園と歴史的建造物の文化が集積し、今もしっかり残っている。

東日本エリア（北海道・東北・関東圏・新潟県）で新潟県の「国指定名勝」の数は、東京都に次いで 2 番目で、名勝指定を受けていないが質の高い庭園も多数ある。これは前述のとおり、北前船を通じ京都との交流が盛んになったことによる（様式 1-2 参照）。

東京都の場合、国指定名勝は多いが震災や戦災のため、作庭当時の建物が現存していないことが多く、庭園も作庭当時と著しく環境が変化（周辺の風景、借景など）している。それに比べ新潟の庭園や建物はもともとの位置関係で残っているところが大半で、往時の使い方に想いを馳せることが容易である。したがって、現代の我が国においては「にいがた庭園街道」は庭園と歴史的建造物をセットで鑑賞（庭屋一如）することができる希少価値の高い地なのである。

構成庭園一覧表 (1/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	ふさいじ 6. 普濟寺	構成庭園の 所在地	新潟県村上市大場沢 1847
1 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】約 3,000 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】</p> <p>山裾の斜面の地形を生かした伝統的な庭園</p> <p>山裾にある寺院であり、その地形を利用して斜面に庭を築いている。寺院の裏山の高台に薬師堂を設け、治水を兼ねて斜面に滝、斜面下に池泉を配し、庫裏や池泉手前の礼拝石から眺める（拝む）伝統的な日本庭園である。</p> <p>寺の創建は室町時代、曹洞宗の古刹</p> <p>創建は室町時代の大永7(1527)年にさかのぼる曹洞宗の古刹、現在の伽藍は文久3(1863)年に再建された。</p> <p>創建は室町時代、曹洞宗の古刹</p> <p>庭園は 33 代の現住職が約 40 年かけて造園したものである。</p> <p>裏山からしみ出る湧き水で流れそうな斜面に石を曳き土を搬び樹々を植栽して整備したものである。</p> <p>本堂を中心に前庭と正面階段に向かって、参道の両側や主庭(池水回遊式)など全体で、千トン近い石が配置されている。</p> <p>普濟寺庭園・春のイベント週間</p> <p>ゴールデンウィークには「春のイベント週間」と銘打って、茶会、精進会席、コンサート、講演会、展示販売、骨董市、晩餐会などが様々なイベントが開催されている。春の夜の宴ではライトアップされた庭園を眺めながら、音楽、和食を楽しむことができる。秋にも同様の企画が開催されている。</p> <p>「城下町村上、春の百景巡り」にも参加している庭園である(様式 1-6 参照)。</p>		



構成庭園一覧表 (1/13)

<p>ふりがな 構成庭園 の名称</p>	<p>ふさいじ 6. 普濟寺</p>	<p>構成庭園の 所在地</p>	<p>新潟県村上市大場沢 1847</p>
<p>構成庭園 の概要</p>	<p>10年目を迎える春のイベント週間</p> 		
<p>計画のテ ーマでの 位置づけ</p>	<p>山裾の地形を利用して築いた京都風の伝統的的日本庭園</p> <p>山裾の斜面を利用し、治水を兼ねて斜面に滝、斜面下に池泉を配した伝統的な日本庭園である。</p> <p>「にいがた庭園街道」の庭園は比較的平坦な地形に盛土して起伏を表現している例が多いため、自然の斜面を利用した庭園はひと味違った趣を鑑賞できる。造園の際は京都の同様の地形を利用した庭園形式を参考にしたと考えられる。</p> <p>この庭園もまた地域全体で築き上げた庭園文化が息づいていると考えられる。</p>		

1

構成庭園一覧表 (2/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	わたなべてい 8. 渡邊邸	構成庭園の 所在地	新潟県岩船郡関川村 904
2 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】1,275㎡ 【入園料金】大人 600 円、小中学生 250 円 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】国指定名勝、国指定重要文化財</p> <p style="text-align: center;">米沢藩に融資していたほどの大庄屋の屋敷</p> <p>廻船業や酒造業、新田開発などで富をなした渡邊家は、財政難に苦しんでいた米沢藩に幕末まで融資して、米沢藩勲定奉行格の待遇を受けた。</p> <p>米沢街道の宿場町であり、荒川を利用した舟運の街でもあった関川村の大庄屋で豪商・豪農の屋敷である。</p> <p>米沢藩上杉家との結びつきが強く「上杉謙信の血染めの感状」、「上杉鷹山の弾弓」など国宝級のお宝も残る</p> <p style="text-align: center;">主屋は国指定重要文化財、庭園は国の名勝</p> <p>文化 14 (1817) 年に建てられた主家 (国指定重要文化財) は、石置木羽葺屋根檜木 (しゅもく) 造りで、屋根には木羽 20 万枚と石 1 万 5 千個が使われている。</p> <p>江戸中期、京都から遠州流庭師を招いて築かれた廻遊式の庭園は国の名勝に指定されている。</p> <p style="text-align: center;">武士のもてなしにも使われていた京風庭園</p> <p>武士のもてなしや休憩に使われた奥座敷から、池泉越しに不動明王に見立てた不動石と枯滝石組みを配した伝統的な京風庭園を望むことができる。</p> <p>昭和 20 年代に京都の古庭園の修復で名高い田中泰阿弥が庭園改修に携わった</p> <div data-bbox="625 1570 1241 1995" style="text-align: center;"> </div>		

構成庭園一覧表 (2/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	わたなべてい 8. 渡邊邸	構成庭園の 所在地	新潟県岩船郡関川村 904
2 構成庭園 の概要	<p>渡邊邸の敷地内の案内図</p> 		
計画のテ ーマでの 位置づけ	<p>武士のもてなしにも使われていた伝統的京風庭園</p> <p>「にいがた庭園街道」を横切るように流れる荒川ぞいがかつての米沢街道にあたる。その拠点となっていた宿場町に渡邊家は位置する。 米沢藩との結びつきが強く、その庭園は武士のもてなしにも使われたとも言われる。京都から遠州流庭師を招いて築かれた廻遊式の伝統的な庭園である。</p> <p>大庄屋がその財力を投じて作り上げた庭園であるが、この庭園も地域への軍の還元(救済事業)に配慮されたと言われている。不況や飢饉などで暮らしに困っていた人々に雇用を作り、収入が得られるように、造園・建築の予算や期間を設けず、莫大な資金と時間をかけたと伝わっている。</p>		

構成庭園一覧表 (3/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	しみずえん 11. 清水園	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市大栄町 7-9-32
3 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】9,240 m² 【入園料金】大人 700 円、高校大学生・70 歳以上 600 円、小中学生 300 円 日曜祝日は小中学生無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】国指定名勝</p>		
	<div data-bbox="400 633 700 728" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>新発田藩の下屋敷</p> </div> <p>新発田藩溝口家 10 万石の下屋敷として 4 代藩主・重雄が元禄 6 (1693) 年に完成、清水谷御殿と呼ばれた。</p> <div data-bbox="400 846 975 940" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>越後路から東北にかけて類を見ない名園</p> </div> <p>昭和 30 年前後に京都の古庭園の修復で名高い田中泰阿弥が庭園改修に携わった。「清水園」の庭園は、越後路から東北にかけて、ほかに類を見ない名園といわれている。京風の庭の中心に、草書体の「水」の字をえがく大池泉を配し、その周囲に茶室を配した池泉廻遊式庭園は、まさに 10 万石大名の下屋敷にふさわしいものである。</p> <div data-bbox="400 1153 1254 1247" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>近江八景をとり入れた庭園。巧みな遠近法もみられる見られる。</p> </div> <p>庭園南西部の岩島や南東の岩島(亀島)、北西部の中島など架かる石橋、南部には 2 段落の滝石組、下部には飛石が打たれ、沢渡りの形で廻遊路が結ばれている。東部中央に突き出す洲浜は、新機(新機)の浜の意匠、西端に岬燈籠、近江八景をとり入れた庭園は、巧みな遠近法を見せてくれます。</p> <div data-bbox="400 1433 1254 1527" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>技術的には桂離宮、要素的には苔寺といわれている。</p> </div>		
<div data-bbox="408 1570 970 1973" style="display: inline-block; vertical-align: top;">  </div> <div data-bbox="991 1554 1406 2011" style="display: inline-block; vertical-align: top; margin-left: 10px;"> <p>庭石を多くは使わない江戸初期の特長をもつ庭園ながら、茶席松月亭前の舟着場の石組、腰掛待合前の舟着場の立石などの構図の妙はみごとである。技術的には桂離宮、要素的には苔寺(西方寺)といわれるゆえんです。</p> <p>また、庭園を囲むようにそびえる薩摩杉、庭内の青森ツガは、この地では珍しい樹木。当時の流通の様子を伝えるものであり、希少な樹によって格式をあげようとしたことがうかがえる。</p> </div>			

構成庭園一覧表 (3/13)

3	ふりがな 構成庭園 の名称	しみずえん 11. 清水園	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市大栄町 7-9-32																												
	構成庭園 の概要	園内の案内図  園内のご案内 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>① 受付</td> <td>⑤ 茶室(柳庵)</td> <td>⑨ 茶室(洞仁斎)</td> <td>⑬ 白輪展示室</td> <td>⑰ トイレ</td> </tr> <tr> <td>② 入門(総門)</td> <td>⑥ 茶室(夕日亭)</td> <td>⑩ 茶室(牡丹亭)</td> <td>⑭ 定軒瓦屋</td> <td>⑱ 大型駐車場</td> </tr> <tr> <td>③ 中門</td> <td>⑦ 懸鐘待合</td> <td>⑪ 郷土資料館</td> <td>⑮ 武家屋敷(石堂亭)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 蒸気</td> <td>⑧ 茶室(翠波庵)</td> <td>⑫ 龍潭堂(龍泉亭)</td> <td>⑯ 駐車場</td> <td></td> </tr> </table> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>● 聖田の遺跡 [かただのちくがん]</td> <td>● 藤田の夕照 [ふじたのせきしょう]</td> <td>● 藤澤の晴嵐 [ふさざわのせいらん]</td> <td>● 唐崎の夜雨 [からさきのよら]</td> </tr> <tr> <td>● 三井の晩鐘 [みやいのばんしょう]</td> <td>● 石山の秋月 [いしやまのしゅうげつ]</td> <td>● 久橋の掃軒 [くはせのまきげん]</td> <td>● 比良の暮雪 [ひらのぼせ]</td> </tr> </table>			① 受付	⑤ 茶室(柳庵)	⑨ 茶室(洞仁斎)	⑬ 白輪展示室	⑰ トイレ	② 入門(総門)	⑥ 茶室(夕日亭)	⑩ 茶室(牡丹亭)	⑭ 定軒瓦屋	⑱ 大型駐車場	③ 中門	⑦ 懸鐘待合	⑪ 郷土資料館	⑮ 武家屋敷(石堂亭)		④ 蒸気	⑧ 茶室(翠波庵)	⑫ 龍潭堂(龍泉亭)	⑯ 駐車場		● 聖田の遺跡 [かただのちくがん]	● 藤田の夕照 [ふじたのせきしょう]	● 藤澤の晴嵐 [ふさざわのせいらん]	● 唐崎の夜雨 [からさきのよら]	● 三井の晩鐘 [みやいのばんしょう]	● 石山の秋月 [いしやまのしゅうげつ]	● 久橋の掃軒 [くはせのまきげん]	● 比良の暮雪 [ひらのぼせ]
		① 受付	⑤ 茶室(柳庵)	⑨ 茶室(洞仁斎)	⑬ 白輪展示室	⑰ トイレ																										
② 入門(総門)	⑥ 茶室(夕日亭)	⑩ 茶室(牡丹亭)	⑭ 定軒瓦屋	⑱ 大型駐車場																												
③ 中門	⑦ 懸鐘待合	⑪ 郷土資料館	⑮ 武家屋敷(石堂亭)																													
④ 蒸気	⑧ 茶室(翠波庵)	⑫ 龍潭堂(龍泉亭)	⑯ 駐車場																													
● 聖田の遺跡 [かただのちくがん]	● 藤田の夕照 [ふじたのせきしょう]	● 藤澤の晴嵐 [ふさざわのせいらん]	● 唐崎の夜雨 [からさきのよら]																													
● 三井の晩鐘 [みやいのばんしょう]	● 石山の秋月 [いしやまのしゅうげつ]	● 久橋の掃軒 [くはせのまきげん]	● 比良の暮雪 [ひらのぼせ]																													
計画のテ ーマでの 位置づけ	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 新潟県内の伝統的京風庭園の先鞭となった庭園 </div> <p> 新発田藩溝口家によって作られたこの庭園は、琵琶湖に見立てた池泉の周囲に書院、茶屋などの建物を配した京風の庭園である。新潟県内の庭園は伝統様式を踏まえた京風の庭園が多いが、その先鞭となった庭園として現存する価値は非常に大きい。 </p>																															

構成庭園一覧表 (4/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	いじみのおちゃや 13. 五十公野御茶屋	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市五十公野熊ノ沢 4926
4 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】約 5.610 m² 【入園料金】無料 【公開時期】4月～11月 【施設管理者】新発田市 【その他】国指定名勝</p> <p style="text-align: center;">新発田藩の下屋敷</p> <p>初代藩主溝口秀勝(みぞくちひでかつ)が新発田入封の際、到着地であった五十公野の地に仮住居をかまえて、築城と領内経営の構想を練ったのが五十公野御茶屋の始まりと伝えられている。</p> <p style="text-align: center;">幕府の茶道方を招いて造園した庭園</p> <p>その後、新発田藩溝口家の別邸・茶寮として、17世紀中頃、幕府の茶道方で遠州流の茶人縣宗知(あがたそうち)を招いて造営した庭園(国指定名勝)である。 歴代藩主は江戸への参勤交代の行き帰りにここで休息し、旅装を整えたり、ふだんは重臣にも開放し茶会を催したりした。</p> <p style="text-align: center;">周りに築山をめぐらせた池泉廻遊式庭園</p> <p>庭園内の樹木は諸国の名所の種苗を取り寄せて植えたものといわれ、「心」の字をかたどったといわれる池を配し、なかに美しい赤松を植えた島を浮かべ、周りに築山をめぐらした池泉廻遊式庭園となっている。</p> <p style="text-align: center;">御茶屋は庭園を鑑賞できるような開放的な造り</p> <p>御茶屋は洗練された数寄屋造りの建物で、全般に木柄が細く簡素繊細な作りである。夏座敷 2 部屋は思い切って解放的に造られ、庭園を十分に鑑賞できるようにつくられている。</p>		

構成庭園一覧表 (4/13)

	ふりがな 構成庭園 の名称	いじみのおちゃや 13. 五十公野御茶屋	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市五十公野熊ノ沢 4926
4	計画のテ ーマでの 位置づけ	<div data-bbox="400 389 794 479" style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 越後を代表する大名庭園 </div> <p data-bbox="400 510 1406 645">旧新発田藩下屋敷(清水谷御殿)庭園及び五十公野茶屋庭園は、「同じ幕府の茶道方の縣宗知の指南の下に造られながら、それぞれ異なった趣の庭園が良好に保存されている越後を代表する大名庭園」として評価を受け、平成15年8月27日付けで国指定名勝となった。</p>		

構成庭園一覧表 (5/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	いちしまてい 14. 市島邸	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市天王 1563
5 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】約 26,400 m² 【入園料金】大人 600 円、小中学生 300 円 【公開時期】通年 【施設管理者】新発田市 【その他】県指定文化財</p> <p>市島家は 1,000 町歩余りを有する大地主</p> <p>市島家は丹波に発する家系であり、慶長3年(1598年)、溝口候の新発田移封に伴い、移封に伴い、加賀大聖寺より随従して以来、次第に栄華を極めた。宗家は居を五十公野(現新発田市)、水原と移すが、水原時代は福島湯の干拓を中心に蒲原平野の開発に努め、ついには北越有数の 1,000 町歩余りを有する大地主、豪農となった。</p> <p>敷地内の市島邸資料館では、市島家に残る大量の所蔵品を展示している。</p> <p>回遊式庭園や池は自然の風致に富み、四季を映す。</p> <p>建物は、明治初期の代表的住宅建築として簡素優雅の作風を示し、これを囲む回遊式の庭園は、自然の風致に富み、広い池を取り巻く樹木はそれぞれの四季を映している。</p> <p>1995年新潟県北部地震で全壊した湖月閣(迎賓館)前の池泉庭園と、水路をめぐらした自然風庭園からなる。</p> <p>市島邸の建物は明治初期の簡素優雅な作風</p> <p>戊辰の役に水原の邸宅は兵火により焼失したため、十世七代徳次郎(静月)は、現在の地に新たな市島家本邸を造営した。市島邸の建物は、大半が明治初期の代表的住宅建築として簡素優雅な作風を示し、敷地 8,000 坪・建坪 600 坪に及ぶ。</p> <p>昭和 37(1962)年 3月に市島邸の十二棟一構が新潟県文化財に指定されている。</p> 		

構成庭園一覧表 (5/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	いちしまてい 14. 市島邸	構成庭園の 所在地	新潟県新発田市天王 1563
5 構成庭園 の概要	<p>庭園案内図</p> 		
計画のテ ーマでの 位置づけ	<p>簡素優雅な邸宅と自然豊かな庭園</p> <p>1000 町歩あまりを有する北越有数の大地主、豪農が築き上げた邸宅は明治初期の代表的住宅建築として簡素優雅な作風を示し、新潟県指定文化財になっている。これを囲む回遊式の庭園も富を象徴するように広大で優雅な造りとなっている。庭園は自然の風致に富み、広い池を取り巻く樹木はそれぞれの四季を映すように工夫されている。</p>		

構成庭園一覧表 (6/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	いからしてい 15. 五十嵐邸ガーデン	構成庭園の 所在地	新潟県阿賀野市金屋 340-5
6 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】約 8,264 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】</p>		
	<div data-bbox="347 562 927 656" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>五十嵐家は明治～大正期の豪農・実業家</p> </div> <p>五十嵐家は任屋の家格を有する豪農・実業家であった。 年雇いを数多く置く模擬農場を経営し、実地に地域指導し、明治 25 年から蔵米品評会を開始した。小作農米を通じて産米改良を指導するなど先進的な農事指導を行い豪農として地域への密着を目指した。また、五十嵐家は百十六銀行(のちの新発田銀行)の創設者ともなり、貴族院多額納税議員や、第四銀行の重役も勤めた。</p> <div data-bbox="357 902 927 996" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>四季折々に美しい、回遊式の京都風大庭園</p> </div> <p>四季折々の表情を見せる 2,500 坪の美しい大庭園は、回遊式庭園で京都の庭師が造園したと伝わる。 主屋からは正面に主庭を望み、園遊会ができる芝庭、その先に縦長の池泉、池泉の対岸には枯滝とも蓬萊山とも見立てられる立石を中心とした石組みが配されている。 離れは主庭を斜めに見ることになり、さらに主室は 2 階にあり床前に座ると庭園があまり見えないため約 5メートルの青石を立てて主景としている。</p> <div data-bbox="347 1265 740 1359" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大邸宅は明治～大正に建設</p> </div> <p>約 5,000 坪の敷地内の建物は、明治初期から大正期にかけて建てられたもので、豪農の面影を色濃く残している。</p> <div data-bbox="368 1563 943 1960" style="text-align: center;">  </div>		

構成庭園一覧表 (6/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	いからしてい 15. 五十嵐邸ガーデン	構成庭園の 所在地	新潟県阿賀野市金屋 340-5
6 構成庭園 の概要	<p>庭園の案内図</p>		
計画のテ ーマでの 位置づけ	<p>明治～大正期の豪農・実業家</p> <p>五十嵐家は先進的な農事指導を行うなど地域密着型の豪農であった。そして、その精神により、地域への富の還元(救済事業)を目的として庭園が造られたと思われる。小作人に雇用を作り、収入が得られるように、造園・建築の予算や期間を設けず、莫大な資金と時間をかけたと伝わっている。</p>		

構成庭園一覧表 (7/13)

ふりがな 構成庭園の名称	ちょうせいかん 16. 長生館の庭園	構成庭園の所在地	新潟県阿賀野市村杉 4632-8
7 構成庭園の概要	<p>【開園面積】約 13,200 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">池泉庭園と自然風庭園を楽しむことができる</p> <p>五頭連峰の山麓に行む 4,000 坪の庭園は、築山に滝石組みを配した池泉庭園と、散策を楽しめる自然風庭園があり、五頭山の自然をあるがままに映し出している。里山と一体となった庭園には、ところどころに景石を配している。本館ロビーと離れからはそれぞれ別の池庭を望むことができる。</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">四季折々の魅力を味わえる自然豊かな庭園</p> <p>春は桜、山野草、ふじが咲き誇り、夏は深緑と満天の星空や竹灯り、秋は燃えるような紅葉、冬は一面の銀世界が広がる。</p> 		
計画のテーマでの位置づけ	<p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">地域全体の庭園づくりへの意識の高さが感じられる自然風庭園</p> <p>自然地形を巧みに生かした自然風庭園は地域全体の庭園づくりへの意識の高さから生み出されたもので、四季折々の趣を引き出すような工夫は、日本人の根底に備わる季節を楽しむ心持ちをうまく引き出していると思われる。 来館客がくつろぎ、散策できる庭園としては秀逸である。</p>		

構成庭園一覧表 (8/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	こうじゅんじ 17. 孝順寺	構成庭園の所 在地	新潟県阿賀野市保田 4626-1
8 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】(不明) 【入園料金】300円以上(ご懇志) 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】</p>		
	<p>かつては、1,000町歩地主斎藤家の邸宅だった孝順寺</p> <p>親鸞聖人の越後七不思議の一つ“保田(やすだ)の三度栗”の寺として知られ、開基は承元2(1208:鎌倉前期)年の創建といわれている。 現在の孝順寺本堂と境内の敷地は越後の豪農斎藤家の旧邸で太平洋戦争後の農地改革の際に物納として一端国に納められた後に競売に掛けられ、昭和25年(1950)に孝順寺が買い取ったものである。</p> <p>大地主斎藤家の誕生</p> <p>齋藤家は寛永20(1643)年に米沢から当地に土着、その後、安田組大庄屋を歴任にしている。明治初期には新発田藩会計職、貴族院議員を輩出、明治30(1897)年には千町歩地主となっている。</p> <p>五頭連峰を借景とした雄大な池泉回遊式庭園</p> <p>池泉回遊式の庭園は、五頭連峰を借景とした雄大なものである。折上げ格天井の大広間と奥座敷から、舟遊びができる池泉庭園を望むことができる。池泉対岸にはかつては水が流れ落ちていた涸滝や、洞門がある。雁行している各座敷から、それぞれ異なる角度の池の姿をたのしむことができる。</p> <p>建物は書院造り風</p> <p>現在の建物は昭和6(1931)年に建てられたもので、紫櫓・黒櫓・鉄刀木などの銘木を随所に使用しているが、邸宅の建築は、地元民に仕事を供給するために始め、昭和初期に10年の歳月をかけ完成したと伝えられている。書院造り風の洗練された建築で庭園と一体化している。</p> 		

構成庭園一覧表 (8/13)

	ふりがな 構成庭園 の名称	こうじゅんじ 17. 孝順寺	構成庭園の 所在地	新潟県阿賀野市保田 4626-1
8	計画のテーマでの位置づけ	<div data-bbox="391 409 887 499" style="border: 1px solid #d9534f; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 地域への富の還元のための造園 </div> <p>五頭連峰を借景とした雄大な池泉回遊式の庭園と書院造り風の洗練された建物が一体化しているのが見どころである。</p> <p>千町歩地主であった斉藤家は、この地域の他の大地主と同様に、地域への富の還元(救済事業)が目的で、暮らしに困っていた小作人や村民に雇用を作り、収入が得られるように努めた。そのため造園・建物の建築には10年を要している。</p>		

構成庭園一覧表 (9/13)

ふりがな 構成庭園の名称	ちんじゅそう 19. 椿寿荘	構成庭園の所在地	新潟県南蒲原郡田上町田上丁 2402
9 構成庭園の概要	<p>【開園面積】約 2,442 m² 【入園料金】高校生以上 400 円、小中生 300 円 【公開時期】通年 【施設管理者】田上町 【その他】県指定文化財</p> <p>1,000 町の田巻家の迎賓館</p> <p>田上の田巻家(原田巻家)の離れ座敷(迎賓館)として、3 年半を費やして大正7(1918)年に竣工した。 田巻家は江戸末期、1300 町歩、小作人 2794 人を抱えた。1897 年、7 代目当主が「不況で仕事のない小作人に働いてもらう」ために、当時日本三大名人の一人と言われた富山・井波の宮大工松井角平に依頼して建てたヒノキ造りの離れ座敷が、椿寿荘である。</p> <p>仏教世界を表した枯山水</p> <p>格式高い大広間から、仏教世界を枯山水で表した庭園を望むことができる。枯山水庭園は、飛石で水の流れを表わし、須弥山や三尊仏に見立てた石組みを配している。庭方向への深い庇を支える柱を1本だけとして、庭園の眺めを遮らないようにしている</p> <p>建物は全国から銘木を集めて建設</p> <p>椿寿荘の名前の由来は椿を長寿の霊木とした中国の故事にならって名付けられた。屋敷は、建坪約 140 坪、ヒノキを使った重厚な寺院様式で、クギを一切使わず仕上げている。目を引くのは、吉野杉・木曾檜・会津樺など全国から集められた銘木である。樹齢 800 年の会津樺をふんだんに使った玄関と露縁、菊を透かし彫りした欄間のクスノキの1枚板などが見どころである。 庄巻は露縁のひさしのけたに使われた約 20 メートルの節ひとつない吉野杉。大阪から海路、新潟から信濃川をさかのぼって運ばれた。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>かつては 1,000 町歩地主斎藤家の邸宅だった孝順寺</p> <p>千町歩地主の迎賓館で、仏教世界を表した枯山水庭園や全国から集めた銘木をふんだんに使った建物は他に類を見ない。 大地主田巻家が 3 年半を費やし、地域への富の還元(救済事業)が目的で造られた。不況で困っていた小作人に雇用を作り、造園・建物の建築に莫大な資金と時間をかけた。</p>		



構成庭園一覧表 (10/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	ほっぼうぶんかはくぶつかん 23. 北方文化博物館	構成庭園の 所在地	新潟市江南区沢海 2-15-25
10 構成庭園 の概要	<p> 【開園面積】約 1,650 m² 【入園料金】大人 800 円、高校大学生・70 歳以上 700 円、小中学生 400 円 日曜祝日は小中学生無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】国登録文化財 </p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">かつては大地主伊藤家の本邸</p> <p> 越後の大地主伊藤家の本邸として、8 年の歳月をかけ明治 22 (1889) 年に建てられた。 現在の庭園は昭和 33 (1958) 年に京都の古庭園の修復で名高い田中泰阿弥によって 作庭された。室町時代の古庭園を思わせる風格のある庭園は、新潟県を代表する名園 である。 </p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">京都風の古庭園の風格を持つ池泉回遊式庭園</p> <p> 格調高い池泉回遊式庭園には 5 つの茶室が点在し、1,000 人の茶会に備えたといわれ ている。大広間から見る池泉庭園には、鶴亀島、雄滝、雌滝、不動石などを配し、京都以上 に京都風の古庭園の風格を持っている。池泉対岸から大広間方向を見ても見ごたえが ある石組みがあり、真の四方面の庭園である。 </p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">豪壮さを備える豪農の館</p> <p> 部屋数 65 の純日本式住居で、まわりには土塼を築き、濠をめぐらし、土蔵造りの 門、総けやき造り唐破風の大玄関、30 メートルの杉の丸桁など、まさに「豪農の館」と 呼ぶにふさわしい豪壮さを備えている。 </p> 		

構成庭園一覧表 (10/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	ほっぽうぶんかはくぶつかん 23. 北方文化博物館	構成庭園の 所在地	新潟市江南区沢海 2-15-25
10 構成庭園 の概要	<p>館内の案内図</p> <div data-bbox="384 472 1406 936"> <p>館内マップ</p> <p>伊藤邸【土蔵棟】 伊藤邸【人形室棟】 三楽亭【書院前御座】 蔵【門上蔵/蔵庫棟】 常盤花【伊藤家の料理場】 移築吉民家</p> </div> <p>館内の全景写真</p>		
	計画のテ ーマでの 位置づけ	<div data-bbox="363 1630 903 1720" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>豪農によって造られた風格ある庭園</p> </div> <p>室町時代の古庭園を思わせる風格のある庭園は、新潟県を代表する名園である。越後の大地主伊藤家の本邸として、8年の歳月をかけ建てられた。他の大地主と同様に、地域への富の還元(救済事業)が目的で造られたと言われている。</p>	

構成庭園一覧表 (11/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうおざわていじゅうたく 24. 旧小澤家住宅	構成庭園の 所在地	新潟市中央区上大川前通 12-2733
11 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】923㎡ 【入園料金】一般 200 円、小中学生 100 円、土日祝日は小中学生無料 【公開時期】通年 【施設管理者】新潟市 【その他】新潟市指定文化財</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">慶商小澤家の店舗兼住宅。</p> <p>江戸時代後期から新潟町で活躍していた商家小澤家の店舗兼住宅である。小澤家は、北前船などの回船や川舟が集まって来る新潟で米を扱ひ、回船を運航し、みななどに関わる会社を興して、経営を拡大してきた。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">明治末期のモダンな和風庭園</p> <p>明治末期に、家財蔵・新座敷などの増築とあわせて築造されたと考えられる和風庭園である。石組みなどに伝統的な庭園手法が見られる一方で、芝を張って庭園を社交の場や生活の場として使おうとする当時としてはモダンな庭園形式の流行がうかがえる。</p> <p>芝生の部分を海、松や石組みのある野筋、築山を島に見立てた枯山水庭園は日本三景の松島に見立てたといわれる。植栽は、クロマツを中心にサツキ類を配している。客間の主景は臥龍松で、客の長寿繁栄を祈る仕立てになっている。また、紀州石・御影石・佐渡赤玉石など、船によってもたらされた石材が数多くあります。京都の陶工・清水六兵衛作の陶製の灯籠も据えられている。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">町家の一連の屋敷構えが見られる</p> <p>新潟の町家の特徴を備え、商いの舞台であった屋敷は明治時代に建築、増築され、屋敷構えを構成する一連の施設がほぼそのまま残されている。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">住宅は新潟市の指定文化財</p> <p>平成 14 (2002) 年に、小澤家から新潟市へ土地と建物が寄贈され、新潟市教育委員会は平成 18 (2006) 年 8 月に、旧小澤家住宅の建造物 7 棟 (主屋、新座敷、離れ座敷、道具蔵、家財蔵、蔵前及び渡り廊下、門及び東塀) と敷地を市文化財に指定した。</p>		



構成庭園一覧表 (11/13)

	ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうおざわていじゅうたく 24. 旧小澤家住宅	構成庭園の 所在地	新潟市中央区上大川前通 12-2733
11	計画のテーマでの位置づけ	<div data-bbox="384 414 927 504" style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>豪商が造り上げた明治末期の和風庭園</p> </div> <p>明治末期のモダンな和風庭園と町家住宅が見られる。 越後、会津の玄関口であった新潟湊において回船業などで富を得た豪商がその財力を投じて作り上げた庭園である。もともとは米穀商であり、新潟の豪農、特に伊藤家との関係も深い。</p>		

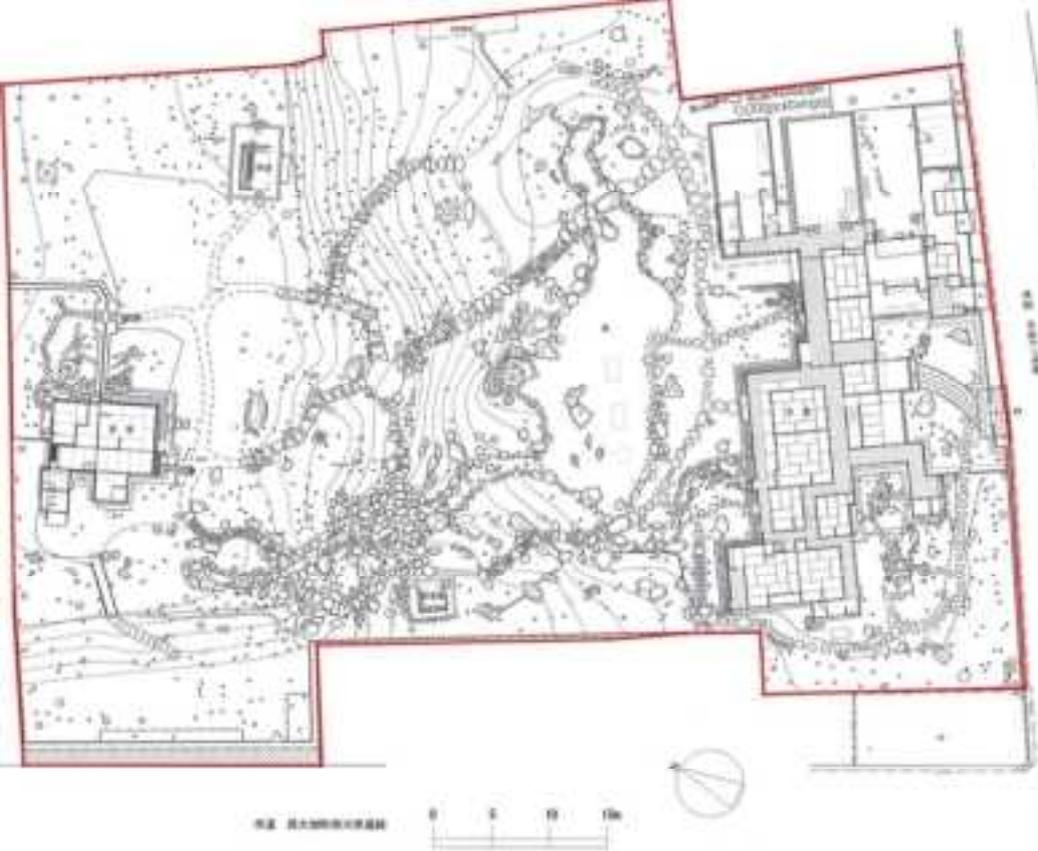
構成庭園一覧表 (12/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	ほっぼうぶんかはくぶつかん 25. 北方文化博物館 新潟分館	構成庭園の 所在地	新潟市中央区南浜通 2-562
12 構成庭園 の概要	<p>【開園面積】594㎡ 【入園料金】大人 450 円、高校大学生・70 歳以上 350 円、小中学生 200 円 日曜祝日は小中学生無料 【公開時期】通年 【施設管理者】民間 【その他】国登録文化財</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">石油王の別宅を豪農が買い上げた</p> <p>油田掘削によって巨万の富を得た長岡の清水常作が明治 28 (1895) 年に別宅として建設し、明治末期に千町歩地主伊藤家が新潟別邸として取得した。</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">数寄屋造りの主屋と枯山水の回遊式庭園</p> <p>落ち着いた数寄屋造りの主屋からは枯山水の回遊式庭園を望む開放的なつくりで、侘びた茶室、洋館が増築されている。</p> 		
計画のテ ーマでの 位置づけ	<p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">石油王と豪農が関わる庭園</p> <p>数寄屋造りの主屋 1 階、2 階、洋館から楽しめるよう作られている具象的な枯山水庭園の眺めを鑑賞することができる。 油田もまた新潟県の地域特性だが、油田開発で富を得た清水家はその財力を投じて作り上げた庭園である。それを明治末期に豪農伊藤家が別邸としたというのにも他に類を見ないいきさつであり、歴史的趣きがある。</p>		

構成庭園一覧表 (13/13)

ふりがな 構成庭園の名称	きゅうさいとうけべつてい 26. 新潟市旧齋藤家別邸	構成庭園の所在地	新潟市中央区西大畑町 576
13 構成庭園の概要	<p>【開園面積】約 3,830 m² 【入園料金】一般 300 円、小中学生 100 円、土日祝日は小中学生無料 【公開時期】通年 【施設管理者】新潟市 【その他】国指定名勝</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">豪商齋藤家の迎賓館</p> <p>国指定名勝 旧齋藤家別邸は大正 7(1918)年に新潟市の豪商齋藤家の 4 代・喜十郎により造られ、迎賓館としても用いられた。</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">砂丘地形を利用した池泉回遊式庭園</p> <p>庭園と建物を一体ととらえる庭屋一如(ていおくいちにょ)の趣向で造られ、各部屋からの庭の眺めは必見である。 7メートルの高さの砂丘地形を利用した池泉回遊式の庭園と、近代和風建築の秀作といわれる開放的な建物は、大正時代における港町・商都新潟の繁栄ぶりを物語る文化遺産である。 客間に座った時に見える範囲は蓬莱島、鶴亀島がある伝統的な池泉庭園、その上の砂丘斜面は縮景や立石を用いない自然主義の庭園が融合している。</p> 		

構成庭園一覧表 (13/13)

ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうさいとうけべっせい 26. 新潟市旧齋藤家別邸	構成庭園の 所在地	新潟市中央区西大畑町 576
13 構成庭園 の概要	庭園の案内図 		
計画のテ ーマでの 位置づけ	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 庭園と建物の絶妙なバランス </div> 庭園と建物を一体ととらえる趣向を鑑賞するのに適した優れた庭園である。 越後、会津の玄関口であった新潟湊において回船業などで富を得た豪商齋藤家がその財力を投じて作り上げた庭園である。主屋各部屋の主たる用途に合わせて、眺めが変わる庭園は庭屋一如の極みである。		

(その他計画の実施にあたって必要な事項)

【 越後村上 春の庭百景めぐり 】

イベント発足の経緯

新潟県の最北部に位置する北村上市では、「人形様めぐり」、「屏風まつり」など様々なイベントにより、めざましい地域の活性化図られ、その知名度が上がるとともに多くの観光客が訪れ、それと同時に地元住民の観光に対する意識の向上も図られてきた。

そのなかで、村上には優れた庭園が多いことに着目した人から、庭園を公開したらどうかという要望があり5年前に「春の庭百景めぐり」というイベントが発足した。



様々な庭園が鑑賞できるイベント



イベントは新緑の季節で、ツツジなどが美しい5月に行われている。他のイベントの開催地が旧町人町の町屋が中心であるのに対し、「百景めぐり」では、寺院、武家屋敷も加わり、賛同者、公開エリアが拡大したことが大きな成果である。それにより、より大きな町全体のイベントに発展している。

町屋では、限られた空間を工夫した趣のある中庭がみられ、寺院では緩い斜面を利用した京都風の庭が見られる。また、武家屋敷あとはは繁栄の象徴である松を活かした勇壮な庭園を鑑賞できる。

様々な種類の庭園が見られることが、このイベントのウリになっている。

相互にPRしていくのが有効

村上市は「にいがた庭園街道」の北端にあたり、黒堀通り、町屋群、若林住宅(武家屋敷)、満福寺、普濟寺、光浄寺は「庭園めぐり」との両方に参加していることから、互いのイベントで情報交換し、PRしていくのが有効であると思われる。



春の庭 百景めぐり 案内マップ

五月一日〜三十一日

百景めぐり

城下町 春の庭

池があり、山を背景にした古刹
耳障りなし、並建を基へた仕舞屋
障子の心なほ、美しい彫刻に石を置く庭園
色々な形がありますが、これらは、すべて
家人の思いが詰まった「しづるま」です。
果たせば、これが「庭」の本音が、
「村上の景観」になります。

レンタサイクルの便利 台車に乗りかかっています。 詳細は下記をご覧ください。

● 村上駅前 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円

● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円

● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円
● 池のついで 1500円

マナーよくご鑑賞ください。

● 歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。

● 歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。

● 歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。歩行者優先の道は、歩行者優先の道として扱われます。

徒歩所要時間 - 距離

●A-B 0:31(400m)	●C-F 0:31(100m)
●B-C 0:21(200m)	●D-G 4:31(300m)
●C-D 0:31(400m)	●E-H 7:31(550m)
●D-E 0:31(400m)	●F-I 0:31(400m)

● 徒歩所要時間 - 距離

●J-K 0:31(400m)	●L-P 0:31(400m)
●K-L 0:31(200m)	●M-Q 0:31(200m)
●L-M 0:31(200m)	●N-R 0:31(200m)
●M-N 0:31(200m)	●O-S 0:31(200m)

● 徒歩所要時間 - 距離

●T-U 0:31(200m)	●V-W 0:31(200m)
●U-V 0:31(200m)	●X-Y 0:31(200m)
●V-W 0:31(200m)	●Z-AA 0:31(200m)
●W-X 0:31(200m)	●Y-Z 0:31(200m)

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組 (1/3)

平成29 (2017) 年

1. 広告・宣伝

- 4月 3日 フェイスブック開設、暫定HP開設
- 5月 1日 「にいがた庭園街道」キックオフ 地元TVで放映
パンフレット第1版完成 配布
- 9月下旬 パンフレット第2版 完成

2. PR活動

- 3月29日 新潟県観光PRアイデアコンテスト2017 最優秀賞受賞

3. 庭園講座の実施

- 10月 5日 「うまさぎっしり」庭園街道ツアー1 (新潟田～村上)
- 11月11日 「うまさぎっしり」庭園街道ツアー2 (新潟～新津)

4. 地方連携意識向上事業

- 3月 3日 プレ講演会 (於：村上) 参加者約60名
講師：北海道ガーデン協議会会長 林 克彦氏
- 7月31日 温泉旅館代表、県観光協会との意見交換会
- 8月 7日 意見交換会 (県2名、県観光協会2名、関係施設7名、スタッフ4名)

平成30 (2018) 年

1. 広告・宣伝

- 4月27日 HP (リニューアル) 開設
- 6月中旬 ポスター (B1サイズ) 完成 配布
- 9月中旬 パンフレット 第3版 (全20ページ) 完成 配布
- 12月中旬 チラシ (リーフレット・A4サイズ) 完成 配布



チラシ



パンフレット



ポスター

2. PR活動

- 3月18日 新潟県のアンテナショップでPR活動 (東京表参道ネオパス)
- 3月19日 首都圏の旅行業者を招待した「新潟友の会」でPR活動 (東京都内)



アンテナショップでのPR活動



「新潟友の会」でのPR活動

- 3月26日 国土計画協会の支援が決定

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組 (2/3)

3. 庭園講座の実施

7月～8月 日本庭園のみかた講座の実施 計10回 参加者156名
 5月～11月 旅行社（数社）とタイアップしてツアーを実施 8回 参加者153名



4. 地方連携意識向上事業

4月25日 一周年記念イベント（於：北方文化博物館） 参加者25名



5. 先進地視察研修

9月3～5日 北海道ガーデン街道への研修ツアー 参加者14名

事業の先進地「北海道ガーデン街道・8施設」を視察し、現地関係者と交流を図る。多くのヒントを得る。



6. 新資源発掘事業

9月 8日 見学ツアー（関川村渡邊邸⇒給内市の榎田）参加者13名



国道290号線沿いの榎田が残る給内市坂井集落を視察し交流を図り、今後の連携を模索

7. 視察受け入れ

11月 8日 国土計画協会の視察（協会4名、スタッフ3名）

国土計画協会 奥田理事長一行（4名）の現地視察と交流



実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組 (3/3)

平成31(2019)年

○ にいがた庭園街道ネットワークの設立(組織の充実)

1月31日 にいがた庭園街道ネットワーク(組織の拡充)設立説明会
54名出席(来賓10+施設15+旅館11+観光協会12+役員・事務員6)



にいがた庭園街道ネットワークの設立(組織の拡充)を関係者(施設・旅館・観光協会)に説明し、会員加入と連携を要請。

3月28日 にいがた庭園街道ネットワーク(組織の拡充)設立総会 参加者57名
披露パーティの開催 於:新潟市NEXT21「結」



○ 地方連携意識向上事業

3月 にいがた庭園街道関係者向けのセミナーの実施(2回-13名)
会場:旧齋藤家別邸、他

セミナーではにいがた庭園街道の構成庭園全体の特徴を総合的に解説できるように説明者の要請を目指している。今後も継続する予定である。



実施する事業と実施体制

(3) 協議会の構成員

【施設部会】

若林家住宅、満福寺、普濟寺、光浄寺（以上、村上市）、渡邊邸（関川村）、二宮邸（聖籠町）、菅谷不動尊、清水園（以上、新発田市）、五十嵐邸ガーデン、孝順寺（以上、阿賀野市）、慈光寺（五泉市）、椿寿荘、東龍寺（以上、田上町）、（公財）中野邸記念館、北方文化博物館、同新潟分館、旧小澤家住宅、旧齋藤家別邸、砂丘館、燕喜館（以上、新潟市）

【旅館部会】

汐美荘、大観荘（以上、瀬波温泉）、泉慶、清風苑、いま井（以上、月岡温泉）、長生館、環翠楼（以上、村杉温泉）、佐取館、望川閣（以上、咲花温泉）、ホテル小柳（湯田上温泉）、高島屋（岩室温泉）

【観光部会】

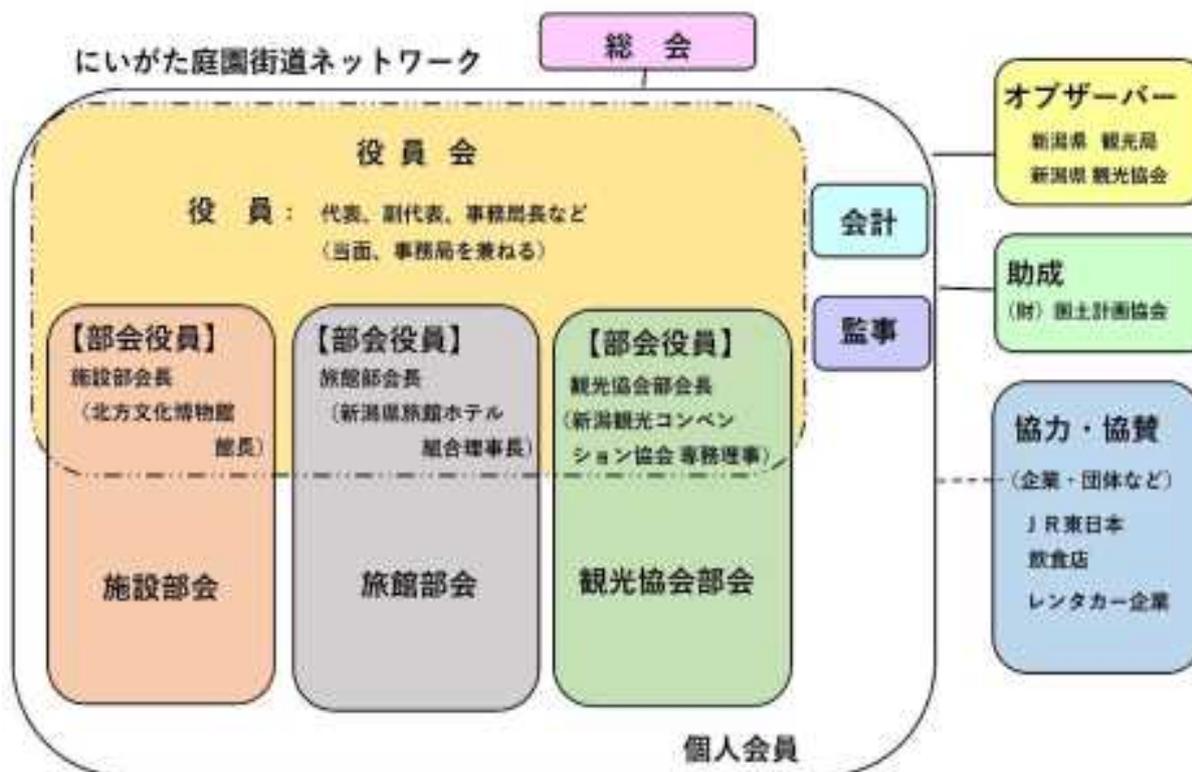
村上市…、関川村…、聖籠町…、新発田市…、阿賀野市…、五泉市…、田上町…、新津…、新潟市南区…、以上の観光協会、新潟市江南区役所産業振興課、新潟県観光コンベンション協会

【アドバイザー】

新潟県産業労働観光部、新潟県旅館ホテル組合、（公）新潟県観光協会

※ 別紙「規約」添付。

(4) 事業の実施体制



(5) 具体的な事業

様式1-8のとおり

(2) 今後の取組

1 広告宣伝

- (1) ポスター作成・配布
- (2) チラシ作成・配布
- (3) パンフレット作成・配布
翻訳版の作成
- (4) HPのリニューアル
翻訳版の作成
- (5) 首都圏でのPR活動

2 庭園講座、庭園鑑賞ツアー

- (1) 庭園街道ガイド養成講座
庭園施設のスタッフ、ガイド等を対象に、専門的な案内ができるようガイドを要請する。
- (2) 庭園のみかた講座
一般の人を対象に、伝統的「日本庭園のみかた講座」を実施する。
将来的には「(仮称)庭園ソムリエ認定試験」などの構築を目指している。
- (3) 庭園街道ツアー
庭園街道の魅力を実感してもらえるツアーを、関係旅行会社とタイアップして実施する。

3 イベント

一般の人を対象に、にいがた庭園街道ネットワークに所属する庭園や施設を会場にして、日本文化をテーマにしたイベントを企画する。庭園を鑑賞しながら日本料理、伝統舞楽和服のファッションショー、茶道、華道などに親しむ場を提供する。

4 新資源の発掘

にいがた庭園街道ぞいの里山の集落の人々、地域おこし協力隊と連携して地域の民芸品、農産物販売などのPR協力活動、地域おこしイベントへの共催などについて働きかけ、実現に結びつける。

5 先進地視察研修

にいがた庭園ネットワークに所属する会員に参加を募って、事業の促進に資する先進地(庭園観光地)を視察研修し、その成果を報告書や報告会で会員に報告する。

6 冊子「(仮称)にいがた庭園街道ものがたり」の作成

にいがた庭園になぜ優れた庭園文化が築き上げられたか、その時代背景について分かりやすくとりまとめ、将来的には冊子として発行する。冊子を通じ、地元内外の当該庭園への関心度を高め、来訪者の増大を図る。

7 その他の企画

テーマを庭園に絞らず、当該地区内の「伝統建造物めぐりツアー」、「温泉めぐりツアー」、「千町部豪農めぐりツアー」、「明治・大正時代の料理ツアー」、「歴史と地質のコラボツアー」、「伝統芸能」、「伝統音楽」とのタイアップなどについても模索する。

村上、新発田、新津、新潟など地域ごとに、庭園と温泉のツアーを組合せたツアーなども検討中である。

にいがた庭園街道ネットワーク内の分会である施設部会、旅館部会、観光協会部会のそれぞれからの意見を集約し、具体化していく計画である。

具体的な事業一覧表 (1/3)

事業名①	庭園街道ガイド養成講座・庭園のみかた講座			
実施主体	にいがた庭園街道ネットワーク	事業期間	平成 29	年度 ~ 年度
実施施設	にいがた庭園街道ネットワークに属する庭園			
事業概要	<p><目的> 庭園ガイドの養成、庭園の紹介、庭園鑑賞のポイントの講習</p> <p><概要> 庭園をめぐるツアーを企画する。ガイド養成講座は主に施設のスタッフ、ガイドを対象に、みかた講座はメディアを通じて広く一般参加者を募る。 貸切バスや自家用車を利用して、「にいがた庭園街道」に組織される庭園をめぐる。各庭園では、庭園鑑賞の専門家が見どころなどの解説を行う。昼食では地域の食文化についても紹介することを意識している。</p>			
事業名①	企画イベント			
実施主体	にいがた庭園街道ネットワーク	事業期間	平成 30	年度 ~ 年度
実施施設	北方文化博物館など			
事業概要	<p><目的> 庭園や日本文化についての講演、庭園と日本文化のコラボ鑑賞</p> <p><概要> 毎年1回、4~5月頃に「にいがた庭園街道」の記念イベントを行う。イベントの内容は一般向けの記念講演会などを行っている。平成31年度は「にいがた庭園街道ネットワーク設立(組織改定)記念行事」として庭園を背景とした着物ショーを計画している。今後も、日本文化との融合できるようなイベントを計画している。</p>			
事業名①	先進地区視察研修旅行			
実施主体	にいがた庭園街道ネットワーク	事業期間	平成 30	年度 ~ 年度
実施施設	先進地区(庭園観光地)			
事業概要	<p><目的> 先進地区の視察研修、組織内の意識向上・結束</p> <p><概要> 事業の促進に資する先進地区(庭園観光地)への研修旅行を行う。 平成30年度は北海道ガーデン街道への研修旅行を行った。平成31年度は「ガーデンネットワーク横浜」への研修旅行を予定している。</p>			

具体的な事業一覧表 (2/3)

事業名①	普濟寺 春のイベント週間			
実施主体	普濟寺	事業期間	平成 21	年度 ~ 年度
実施施設	普濟寺境内、庭園			
事業概要	<p>ゴールデンウィークに行われるイベントで、今年で 10 年目を迎える。イベントの内容は、会席膳、茶会、演奏会、講演会、骨董市、バザーなどバラエティに富んでいる。</p> <p>なかでも、春の夜の宴というイベントでは、ライトアップされた庭園を眺めながら地元の音楽家のピアノやギターや篠笛など演奏を聴きながら、地酒が飲める贅沢なイベントである。</p>			
事業名①	セミナー日本庭園のみかた			
実施主体	藤井哲郎(当会副代表)	事業期間		年度 ~ 年度
実施施設	旧齋藤邸別邸、清水園など			
事業概要	<p>今年度は清水園を会場に 4 回の講座(それぞれ完結)が行われる。庭園の伝統様式の解説など鑑賞のツボや「ここから見ると美しい」というビューポイントなど鑑賞の約束事などについての説明を聴くことができる。</p> <p>旧齋藤家別邸での講座は通算 100 回を超え、高い評価を得ている。</p>			
事業名①	豪農&新潟を体験			
実施主体	北方文化博物館	事業期間		年度 ~ 年度
実施施設	北方文化博物館			
事業概要	<p>毎年、様々なイベントが企画されている。</p> <p>平成 30 年には、豪農伊藤家伝来 3 人餅つき体験、200 年の歴史を誇る古町芸妓鑑賞、沈金体験(新潟漆器への沈金)、羽釜炊飯体験、普段非公開の茶室「積翠庵」の公開など、バラエティに富んでいる。</p> <p>それぞれのイベントごとに料金が定められていて、事前申し込みにより、貴重な体験ができる。10 名以上の制限があるイベントもある。</p>			

具体的な事業一覧表 (3/3)

事業名①	行形亭(いきなりや)のお食事とお座敷めぐり		
実施主体	行形亭、旧齋藤家別邸、北方文化博物館新潟分館	事業期間	年度 ~ 年度
実施施設	行形亭、旧齋藤家別邸、北方文化博物館新潟分館		
事業概要	<p>三百年以上の伝統を持つ行形亭の昼食と新潟一の豪農伊藤家の別邸「北方文化博物館新潟分館」、近代新潟の豪商が作った迎賓館「旧齋藤家別邸」の見学がセットとなったプランである。北前船最大の寄港地として栄えた「みなとまち新潟」に残る老舗料亭の食事と庭園文化が楽しめる。</p>		